

特集：卒業

“恋人”できましたか？

山岡 裕一（筑波大学 生命環境科学研究科）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この日を迎えられることを心からお祝いいたします。皆さんがそれぞれにがんばった成果です。胸を張って卒業してください。

この4年間、ほぼすべてのことが順調に進み、のりにのっている方もいるかもしれませんが、むしろそういう方は少なく、大部分の方は何かしらうまくいかないことがあったり失敗したりと、悩みを抱えたことと思います。そんな悩みを克服し卒業したことは、この4年間で自分自身が成長できたということだと思います。失敗したとか、十分な成果が上げられなかったとか、少々後悔の気持ちがある方は、少しだけ反省をし、後は気持ちを切替えて前向きに次のステージに進んでください。卒業後、大部分の方は大学院に進学したと思いますが、修士課程の2年間は短いです。研究にしても将来の進路にしても考えなければならぬことが多く、4年生の時の1年間よりも時間がないと感ずるかもしれません。しかし、見方によっては、より充実した日々が送れるとも考えることができます。就職した方は、おそらく今までとは全く異なる環境の中で生活していくことになると思いますが、大学での経験を生かし、また個性を生かして活躍してください。もしかすると、大学で学んだ生物学に関する知識よりも、自分が遭遇した問題に如何に立ち向かい、解決したかという経験の方が、今後の人生にとって役立つのではないのでしょうか？大学時代に悩んで、苦勞しておいて良かったと思える日がすぐに来ると思います。

ところで“恋人”は見つけられましたか？覚えている方は少ないかもしれませんが、4年前、皆さんが入学されたときに、在学中に“恋人”を見つけましょうというメッセージを皆さんにお送りしました。結婚を考えているパートナーを見つけた方もいるかもしれませんが、私が意図した“恋人”とは、「自分が一生愛し続けることができる本当に好きなもの」のことです。もちろん生物学でも、自分が研究に使っている特定な生物でも良いのですが、スポーツ、音楽、コレクション等の趣味でも良いのです。見つかりましたか？“恋人”は、これからの皆さんの人生を豊かな楽しいものにしてくれますし、仕事で生きづまったり、いやことがあったときにも自分を元気にしてくれます。皆さんもいずれは結婚し、子供ができることと思いますが、自分の子供と一緒に遊んだり自信を持って教えてあげられることがあると楽しいですよ。もしまだ見つかっていなければ今からでも是非見つけてください。

生物学類のクラス担任は今回で2回目。こちらが慣れたせいかもしれませんが、今回はあっという間に4年間が過ぎました。また、前回の学生たちには申し訳ないのですが、今回の方が担任として充実していたように思います。その一つの原因は、途中でクラス替えをせず4年間同じメンバーを担当するシステムに変わったことだと思います。入学時から1年のうちは担任としての役割が大きいと思うのですが、2年、3年と皆さんが大学にも慣れ、またそれぞれの専門に分かれて行くにつれ担任の仕事はだんだんと減っていき、卒業研究のために各研究室に入った後にはほとんど仕事はないものと思っておりました。しかし今回は4年になってからも、クラスの学生と話す機会も多く、私自身クラスの学生に対する愛着がたいへん強くなりました。

私が担当した1クラスはまとまりが非常に良く、顔を見なくなったメンバーがいると声を掛け合い、集まっては悩みを相談したり、情報を交換したりと、お互い助け合う気持ちが非常に強かったと思います。こういう仲間に大学時代に巡り会えたことは非常に幸運なことで、卒業してからも大事にしていってほしいと思います。そのありがたみがわかるのは就職してしばらく経ってからかもしれませんが、またお互い顔を見たいなと思ったときに集まると良いとおもいます。

この春に全員そろって卒業できなかったのは少々残念ですが、ここで1年、2年人に比べて余計に時間がかかっても、後から考えれば誤差、むしろ時間が使えてラッキーだったと思えるような過ごし方をしてほしいと思います。自分を見つめ直すもよし、今しかできないことにチャレンジするもよし。少し休んだら、また元気に歩きだしましょう。

それぞれの人生、新たな環境で体に気をつけてがんばってください。そのうち近況を報告してもらえるとうれしいです。皆さんの益々の活躍をお祈りいたします。

Contributed by Yuichi Yamaoka, Received April 17, 2009.